

センターだより

第5号

平成28(2016)年10月4日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

吹田市適応指導教室について

吹田市立教育センターでは、「教育相談」の一環として、不登校児童・生徒支援事業を実施しています。今月は、その支援事業である吹田市適応指導教室についてご紹介します。

吹田市適応指導教室は、「光の森」活動と「学びの森」活動があります。教室に入ることができない児童・生徒を支援する校内適応指導教室に対して、吹田市適応指導教室は、心的な要因で学校に行くことができない児童・生徒を支援しています。ただし、吹田市適応指導教室は、いわゆるフリースクールとは異なり、あくまでも「学校復帰」を目標としています。吹田市適応指導教室に入室してからも、学校行事への参加、定期テスト等の受験など学校と連携をとりながら、本人が少しでも学校と関われるチャンスを大切にしたいと考えています。

①「光の森」活動 活動場所：自然体験交流センター（千里北公園）

心的な要因で学校へは登校できないが、外出が可能であり小集団活動に入れそうな児童・生徒を対象に、小集団での学習やささまざまな体験的活動を行い、学校への復帰を目標に社会的自立を図っていきます。



【基本日課】

9:15.....	10:00__	10:15_____	12:00__	12:30_____	14:15_____	14:30_____
学習会	朝の会	学習（一斉） （小学生は個別）	昼食	フリータイム （スポーツ・トランプ会話等）	清掃	終わりの会

学習&昼食場所&午後からの活動部屋



野外食堂で月に1回程度、飯盒炊さんもしています



月曜日は体験活動が中心になります。教育センターの工芸室を利用し、陶芸や美術・木工等のものづくりに取り組んでいます。その他に情報科学室でのパソコン教室や生活科学室での料理教室なども体験しています。

子ども同士の交流を一層深めるために、また、日頃の活動の成果等を発表する場として、さまざまな行事を実施しています。（平成27年度実施例）

5月 飯盒炊さん	10月 飯盒炊さん	1月 餅つき大会
6月 飯盒炊さん	11月 遠足（京都方面）	2月 作品展
6月 スポーツ大会	11月 運動会	2月 飯盒炊さん
7月 流しそうめん	11月 飯盒炊さん	2月 遠足（明石方面）
9月 飯盒炊さん	12月 お楽しみ会	3月 出発を祝う会
9月 福祉体験	1月 百人一首大会	

②「学びの森」活動 活動場所：竹見台多目的施設（千里たけみ小となり）

心的な要因で学校へは登校できないが、外出が可能な児童・生徒を対象に、個別対応を中心とした活動や学習を行い、学校への復帰を目標に人間関係づくりを学びます。子どもたちの状況に応じて、個別対応から小集団への参加も促していきます。



【基本日課】

10:00		12:20	13:00	14:20	14:30
朝の会	個別学習	昼食	フリータイム (卓球・トランプ・会話等)	終わりの会	

この部屋でフレンドとおしゃべりや学習をします



この部屋では昼食をとります
(別の部屋で食べる子どももいます)



子どもたちがさまざまな体験をするために、学期に1回程度下記の活動を実施しています。子どもたちは、個々の状況に応じて、フレンドとともに参加します。部分的な参加も可能です。(平成27年度実施例)

- ☆ 調理実習（カレーライスづくり、ホットケーキづくり、たこ焼きづくり）
- ☆ 美術教室（うちわづくり）
- ☆ 光の森 餅つき大会に希望者参加
- ☆ 情報教育（教育センター情報科学室にてコンピュータを使ったミニポスターづくり）

吹田市適応指導教室行事紹介

光の森では、9月15日（木）・16日（金）に内本町と亥の子谷デイサービスセンターにて福祉体験を行いました。子どもたちは最初緊張した様子でしたが、徐々に慣れ、積極的にレクリエーションに参加するなど、利用者と交流することができました。

9月23日（金）の流しそうめんは「光の森」と「学びの森」合同で実施しました。天候にも恵まれ、竹の水路を流れてくるそうめんに、子どもたちは手に箸を持ち、大はしゃぎで格闘していました。



スーパーティーチャーがやってきた！

授業づくり研修『スーパーティーチャーに学ぶ②』（算数）

7月6日（水）に実施の授業づくり研修『スーパーティーチャーに学ぶ②』（算数）について報告します。学研算数部共催の本研修では、筑波大学附属小学校より田中博史教諭を講師にお迎えし、「思考力・表現力をのばす算数授業」をテーマに、公開授業及び講演をしていただきました。180人を越える参加者が佐竹台小学校に集まりました。講師である田中先生も「吹田市は、授業力の向上に熱心だからね。」と声をこぼしておられました。



さて、日常の中で、思い悩んでいたことに対して、ひらめきや次の行動の一手が生まれたとき、自然に「そうか！」という声とともに、喜びがこみ上げる場面がありませんか。頭の中のよどみが澄んだとき、次の行動に対する自信も生まれます。本研修では、田中先生に、児童が主体となって課題に向き合い、子ども同士の対話から、「あ！わかった！」を引き出すすばらしい授業を見せていただきました。

田中先生は授業主題を～聞き取りと再現活動を軸にして～とし、子どもとの対話について示されました。『算数でも言語活動の大切さが言われ始め、現場では説明活動がたくさん行われるようになった。確かに知識は自分の言葉で表現し直してみても、初めて自分のものとなると思われるから、子どもたちが自分の言葉で話すことは大切だと考える。しかし、ただ話せばいいのではない。子どもたちの対話を組み立てていくという意識で説明活動を位置づけないと、「話す子ども」だけの学習に終わってしまう。まずは、友達の話の正確に聞き取るということ。子どもたちの話し合い活動では、誰かが話すとすぐにその内容が正しいかどうかの吟味が始まるが、大事な場面では最初の発言者の内容をまずは全員が確実に聞き取ったかどうかを確かめることが必要である。この場面も実は変化していく最初の「めあて」を整理している場面になる。今から何を考えるのか、何を今議論しているのかを、正確にとらえて参加させていきたいものである。』



アクティブ・ラーニングを大切にすることは、主体の形成にあると言われる田中先生。全員が問題の意味を理解しているかどうかを確かめることに注力されながら授業を展開させていきます。気がつくと田中先生は気配を消し、子どもたちだけの対話の場面を生み出します。

「ちょっとみんな前においで！発表をしっかりと聞いて、わかったら机にもどろうか。」

いつもとは違う環境での授業であるにもかかわらず、児童は「それってさ・・・」「うんうん。」「わからないなあ。」と日常的な会話のような雰囲気、目の前の課題について語り合います。田中先生が組み立てる、児童の言葉による主体的な思考と対話の時間。問われていることをしっかりとらえ、自分の考えとそれを表出する言葉が頭の中に現れたとき、「あ！！」という児童の声が響きます。霧が晴れたような表情で意気揚々と座席にもどっていく児童の顔が印象に残る授業でした。田中先生の、児童をみとり、つなぐための“仕掛け”があって生まれた場面でした。

実は、研修開始前、研修会場を確認された田中先生が、ホワイトボードと児童席の間にある授業者用に用意した長机を見て一言。「これがあると、子どもは前に出たがらなくなっちゃうんだよなあ。どうしようかな・・・。」と。支度段階における児童への心配り。これも、教師として不可欠な授業力の一つであると改めて教えられた一コマでした。授業・そして講演と、算数科の壁をこえた、授業づくり、学級づくりのスキルアップにつながる時間となりました。





10・11月の教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
ライフステージにあった研修	フレッシュ研修	47 「見えないスキルを磨く ～必要とされる事務職員になるため～」 千里みらい夢学園 桃山台小学校 主査 古館 学	教育センター 視聴覚室	10月18日(火) 15:45～17:00	新規採用事務職員 ※専門職研修を兼ねる
	ステップアップ研修Ⅰ	57 ステップアップ研修Ⅰ(小学校)「授業づくり③」代表研究授業 5年 外国語活動 授業者 藤白台小学校 教諭 荻野 茜 指導助言 第一中学校 指導教諭 池田 広恵	藤白台小学校	11月11日(金) 14:30～17:00	ステップアップⅠ研修 小学校受講者
	ステップアップ研修Ⅱ	61 ステップアップ研修Ⅱ(小学校)「授業づくり③」代表研究授業 1年 音楽科 授業者 東山田小学校 教諭 社城 江莉 指導助言 片山小学校 指導教諭 今村 美加	東山田小学校	11月8日(火) 14:25～17:00	小学校 ステップアップⅡ研修 受講者
		64 ステップアップⅡ選択研修 支援学級センター校「肢体不自由学級」について学ぶ 高野台小学校 教諭 磯崎 淳子 教諭 山田 直樹	高野台小学校	10月27日(木) 14:10～17:00	ステップⅡ受講者で 選択した者
		63 ステップアップⅡ選択研修 日本語適応指導教室「さくら広場」について学ぶ 藤白台小学校 教諭 関谷 英未	竹見台中学校	11月2日(水) 15:15～17:00	
		62 ステップアップⅡ選択研修 吹田市適応指導教室「学びの森」について学ぶ 講師 教育センター 不登校児童生徒支援員 三輪 小十郎 教育センター 研究員 小林 優	竹見台多目的施設	11月18日(金) 16:00～17:00	
	10年経験者研修	27 小学校代表研究授業 授業者 藤白台小学校 教諭 土居 春美	藤白台小学校	11月10日(木) 13:40～17:00	小学校 10年経験者研修受講者
28 中学校代表研究授業 授業者 第五中学校 教諭 光岡 忠司		第五中学校	11月14日(月) 13:35～17:00	中学校 10年経験者研修受講者	
リスク研修 スクールリーダーA	82 「学校組織マネジメント -チーム学校-(仮)」 大和大学 教育学部 教授 石村 卓也	教育センター 視聴覚室	10月24日(月) 15:30～17:00	首席	
教育課題別研修	教育課程②	106 「キャリア教育 -ダンスアドベンチャー-(仮)」 日本ストリートダンススタジオ協会	教育センター 視聴覚室	11月11日(金) 15:30～17:00	教職員 ※教育課程推進担当者会 を兼ねる
	人権教育②	112 「LGBTについて -当事者から学ぶ-(仮)」 にじいろらいと代表 柳 淳也	千里市民センター 大ホール	11月15日(火) 15:30～17:00	教職員 ※人権教育担当者会を兼ねる
教科領域別研修	授業づくり研修(ICT活用)	141 ICTを活用した授業づくり 授業者 高野台中学校 教諭 柳田 慧士 指導助言 大和大学 講師 松本 宗久	高野台中学校	10月27日(木) 14:30～17:00	教職員 ※情報教育推進委員会を兼ねる
	授業づくり研修(理科)	138 「観察・実験の授業デザインを考える」 授業者 佐井寺小学校 教諭 上田 想 指導助言 吹田南小学校 教諭 柳本 周治	佐井寺小学校 第1理科室	11月21日(月) 14:25～17:00	教職員 ※大阪府教育センター主催研修 小中連携のための観察・実験 研修A日程の第6回を兼ねる
	英語教育研修	129 「DREAM」の活用について 吹田市立千里丘北小学校 教諭 佐野 彩子 教諭 宮原 典子	教育センター 視聴覚室	11月24日(木) 16:00～17:00	小学校教職員 ※小学校外国語活動 担当者会を兼ねる
専門職研修	事務職員研修	92 「見えないスキルを磨く ～必要とされる事務職員になるため～」 千里みらい夢学園 桃山台小学校 主査 古館 学	教育センター 視聴覚室	10月18日(火) 15:45～17:00	事務職員 (経験1～5年目)
特別支援教育研修	特別支援教育 コーディネータ 研修	219 発達障がい理解と実践「保護者の願いを聴き取る」選択⑨ 安原こどもクリニック 心理検査担当 宮本 裕美子	教育センター 研修室	10月13日(木) 15:45～17:00	教職員
		212 「状況調査について」共通③ 教育センター 指導主事 西 貴美子	教育センター 視聴覚室	10月21日(金) 15:45～17:00	教職員
	特別支援教育 事例検討研修	222 事例検討研修(学習領域②) 事例提供 市内学校園 助言 大阪医科大学LDセンター 西岡 有香	教育センター 視聴覚室	10月27日(木) 15:45～17:00	教職員



10・11月のさつきらる一む(初任者教員等相談室)は、
10/11(火)、13(木)、11/8(火)、10(木)です。
申込は、教育センターまで(メールまたは研修申し込みシステムにて)
※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。



授業づくり研修 講座番号133 スーパーティーチャーに学ぶ③(国語)開催日決定のお知らせ
開催日 平成29年2月21日(火) 講師 関西学院初等部 教諭 日本授業UD学会 野村 真一 先生
【14:45～17:00(予定)】
 ☆国語授業のユニバーサルデザインについて、関西学院初等部 野村真一先生から学びます！
 ☆研修内容・申込等詳細については、1月初旬に通知します。
 ☆本研修は、「特別支援教育コーディネータ研修」選択⑩【講座番号 220】を兼ねています。

【センター所長のつぶやき日記④】

来所者の方が教育センターに来られる時に必ず「越えなければ」ならないのは、センター前の上り坂です。特に暑い時期は、到着直前にあるこの坂道を恨んだ方も多くおられるのではないのでしょうか。坂の上り口(交差点付近)とセンター入り口の高低差は約7m!学校の校舎に当てはめれば2階天井相当の高さになります。研修会場となる視聴覚室や第1会議室は建物の2階にありますので、実質は4階まで上がっていただいています。(私たちの事務室は5階相当となります。..)ちなみに、この高低差を把握するにあたって、小・中学校54校の標高も調べてみました。(注:学校所在地を基準とする独自調査)
 標高が3m未満(1階天井相当)の学校は、吹田第二小、吹田南小、吹田第六小、豊津第一小、豊津第二小、第六中、豊津西中の7校。
 逆に60m以上(20階天井相当)の学校は、藤白台小、青山台小、桃山台小、青山台中、古江台中で、小・中学校のうち最も標高の高いところにある学校は、千里たけみ小学校(72.1m)、竹見台中学校(68.2m)でした。標高差といえば、校門から玄関入り口まで最も標高差がある学校は南山田小学校で、実に14mもあります。これは校舎の4階天井相当となり、最上階の教室は8階に位置することになります?!
 学校前に「長い坂」のある学校も多くありますが、南千里中学校の校門に続く坂は標高差13m。千里丘北小学校と千里丘中学校は、北側の幹線道路との標高差が24mもありました。
 登下校時の安心・安全や『吹田市洪水ハザードマップ』を思い起こしつつ、今日も「越えなければ」ならない坂を上っています。

